

文化財の概要

長野県宝に指定する文化財

名称、員数、所在地	所有者	文化財の概要
<p>やま かみいせきしゆつどひん 山の神遺跡出土品</p> <p>土器 4 点・石器 41 点</p> <p>大町市</p>	<p>おおまちし 大町市</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   </div> <p>○大町市常盤の扇状地に広がる「山の神遺跡」から出土した縄文時代早期（約 9,000 年前）の土器 4 点及び石器 41 点で、学術的に価値の高い資料。</p> <p>○土器は、楕円や山形の文様、異なる文様を併用した押型文土器 3 点と、器の形が同じ縄文土器 1 点で、いずれも破片資料ではなく器の形が分かる。長野県北部域の押型文土器の特徴を知ることができる貴重な資料。</p> <p>○石器（異形部分磨製石器）は、形は石鏃（石の矢じり）に似るが先端は丸みをもつ。形状は統一的で、石材の色調が類似し、大型と小型の二種で構成される。コの字状に石が配置された特殊な遺構の周辺から多量に出土した希少な例で、当県の縄文文化の一端を知ることができる貴重な資料。</p>